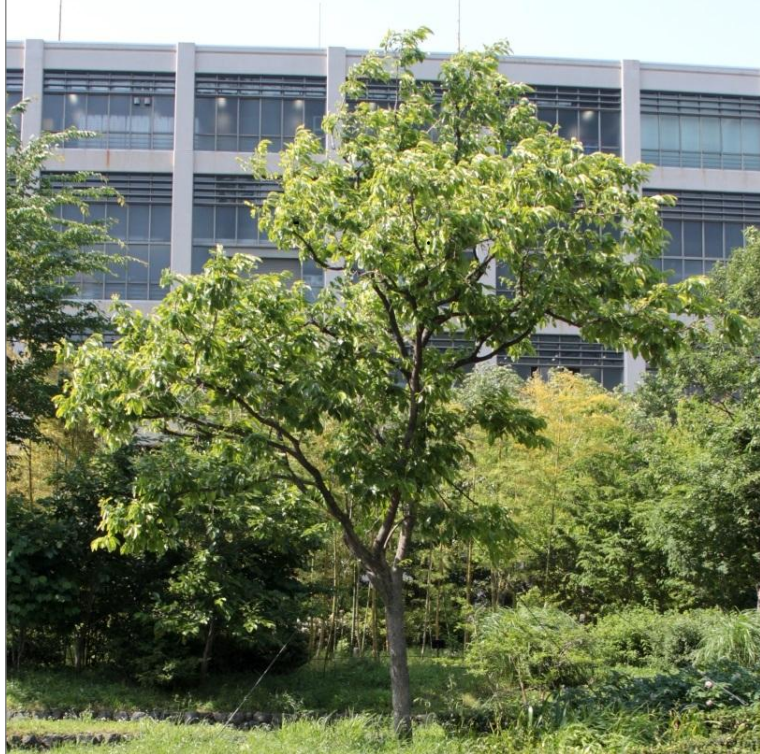




カキノキ (カキ) [柿の木]

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 外来種・栽培品種



科名 カキノキ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い

秋の里山の風景に、色付いた果実をつけたカキノキがよく似合う。庭先でも親しまれている一番身近な家庭果樹。目的別に多くの品種があり、次郎柿、富有柿は甘柿、平核無（ひらたねなし）は渋抜きが必要。ロウヤガキは、小粒の果実をたくさんつけ、観賞目的に利用される。



Memo

日本を代表する果実で、学名にも kaki の名が使われているが原産は中国との見方が有力。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期						■	■						
果 実										■	■	■	■
紅葉・黄葉											■	■	
施 肥		■	■						■				
剪 定		■	■					★★★					■

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾	○	○	湿
寒 さ	強	○	○	弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○			○	○	○	

ポイント

雄花と雌花を別々につけるが、甘柿は雄花のない品種が多いため、近くに雄花をつける品種「禅寺丸」や「筆柿」などを植えると結実が増える。渋柿は単独でも結実するものが多い。

剪 定

古枝、弱々しい枝を切除し元気な新枝を残すと、翌年の結実がよくなる。放任すると、隔年結果（1年置きに実をつける）になりやすい。20枚の葉に1果程度がお薦め。台木のひこばえは切除する。

病虫害

注意したいのが「カキノヘタムシガ（カキミガ）」。幼虫が5月7月の年2回発生し「ヘタ」の部分から実を食害するため落果する。また、熟した果実はカラスが狙うので注意。